

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／生涯学習部図書館による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	読書活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	子どもの健やかな成長を図るため、子どもの読書習慣の定着に資する活動を推進する。	全館の読書活動事業に加え、生涯学習課部内連携企画に参加し、館外に向けた読書活動事業も行った。	2：一定近づいた	継続	1,297	31,087	32,384	生涯学習課の部内連携会議において、できるだけ早い段階でスケジュール調整を行い、相乗効果を生み出すような取組を目指すことが課題となっている。	継続した部内連携企画や学校支援強化に向けた、読書活動事業を進めるために、関係課との協議や課内の事業の見直しを図る。	
2	図書館運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館資料等の提供を通して市民の知る自由を保障するとともに、生涯学習を支援するため、図書館を運営する。	資料の提供にとどまらず、関係団体による公開講座の開催支援等を行った。	1：少し近づいた	継続	144,319	35,750	180,069	年齢を問わず誰もが継続的に学べる場として、さまざまな市民の来館を促進するための工夫が必要。	館外での読書推進に向け、電子書籍の周知やSNSでの広報を強化し、幅広い年代の図書館利用促進に務める。	
3	図書館管理事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館の施設機能を保持するため、図書館施設を適切に管理する。	定期的な設備点検を通じて適切に施設管理を行うとともに、補修等が必要な設備については適宜改修を行った。	2：一定近づいた	継続	18,214	6,655	24,869	老朽化が進む施設において、図書館の利用者が安心安全に利用できるような適切が施設および設備の維持管理が必要。	必要な修繕箇所の優先順位を見極めながら適宜改修を進める。	
4	公共公益施設整備基金積立事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館施設の整備のための資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自動販売機設置スペースを民間事業者に貸し付け、その収益の一部を積み立てた。	5：達成した	継続	6	75	81	近隣の自販機の設置状況等を考慮し、設置の継続の必要性の検討が必要。	新たな事業者の確保の見込みや、設置することで得られる効果の検証を行う。	
5	図書館管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	予算管理、文書管理、勤怠管理をはじめ庶務全般を行った。	5：達成した	継続	-	10,313	10,313	電子化の推進に伴い、より適切な事務管理の遂行が必要。	庶務事務全般において電子化の推進に伴うより効率的な管理事務を遂行するとともに、適切な事務管理を行う。	